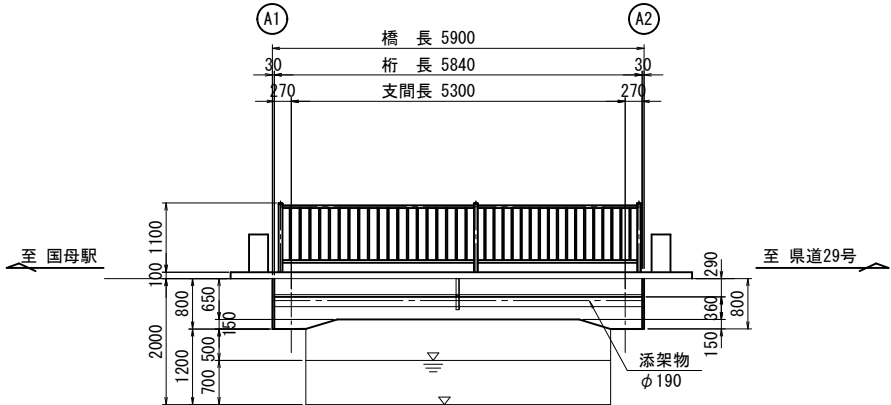
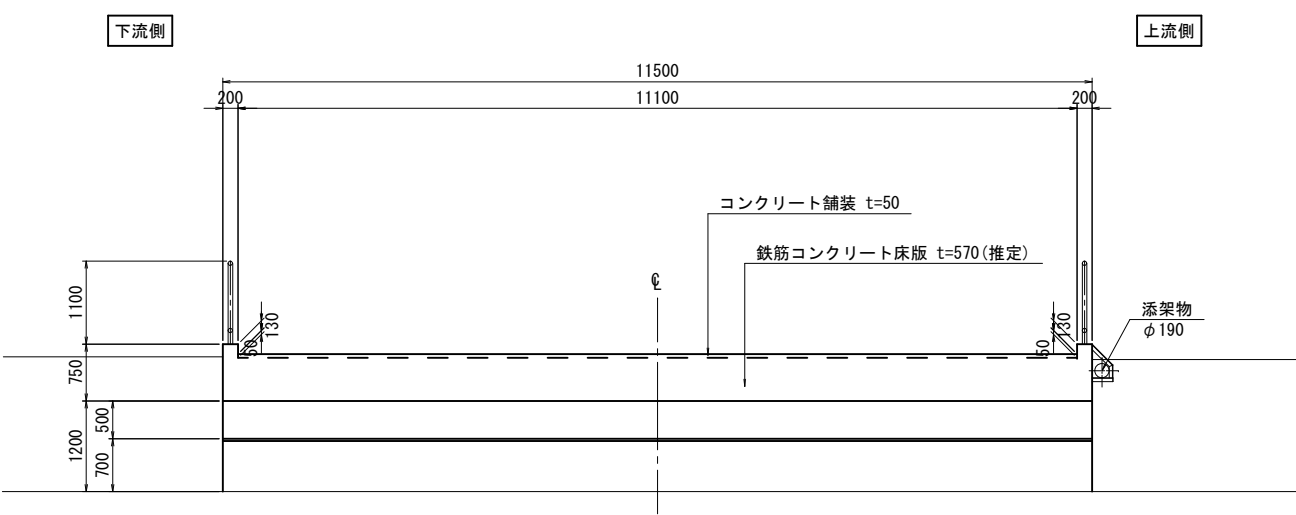


大北橋 現況一般図

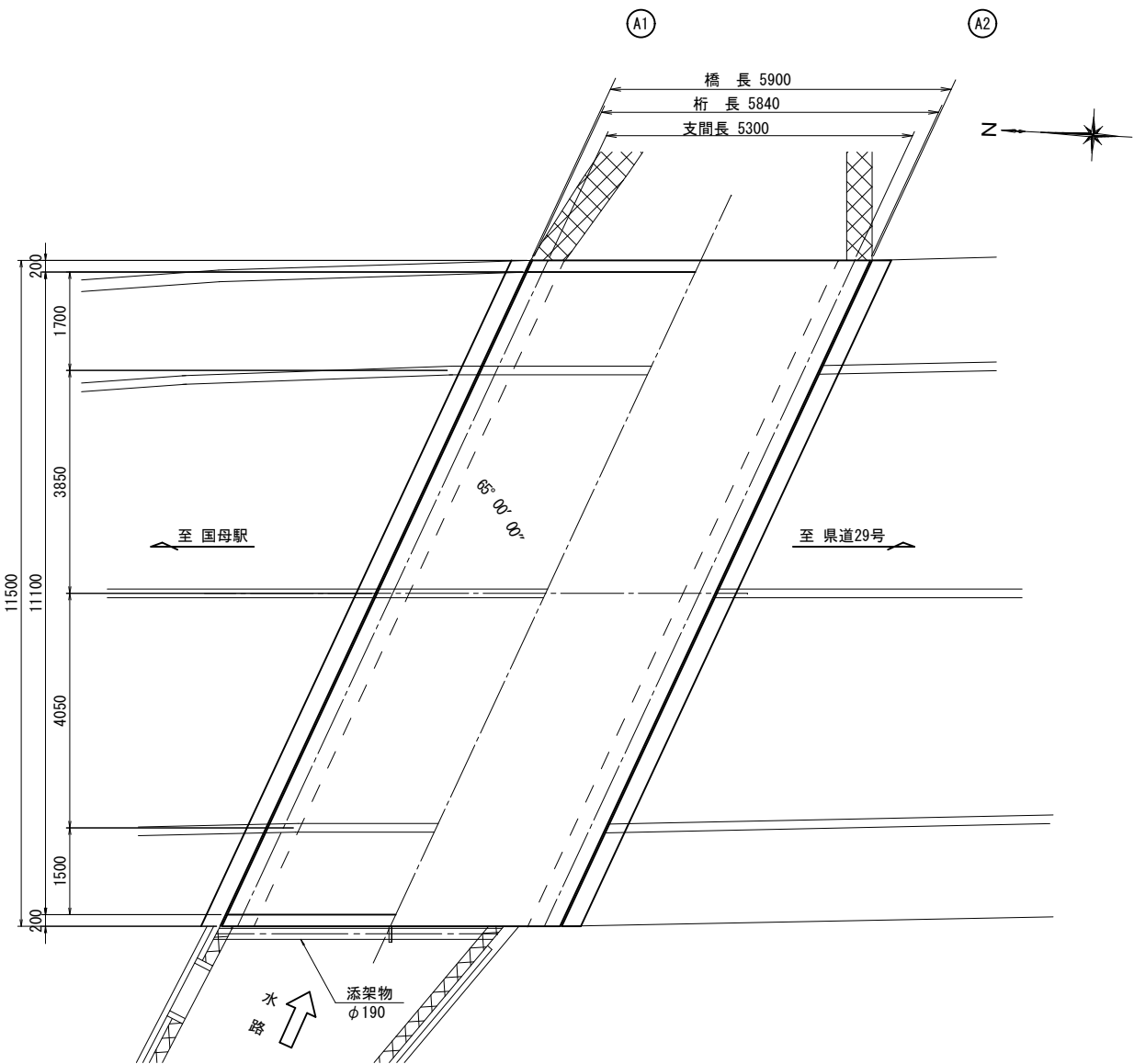
側面図 S=1:60



断面図 S=1:50



平面図 S=1:60



橋梁諸元表

竣工年月	昭和42年(1967年)	
橋格	不明	
型式	上部工	単純RC床版桁橋
	下部工	不明
	基礎工	不明
橋長	L=5.900m	
桁長	L=5.840m	
全幅員	W=11.500m	
有効幅員	W=11.100m	
斜角	左 65°00'00''	
舗装	コンクリート舗装 (50mm)	
交差条件	水路 (甲府市管理)	
適用示方書	鉄筋コンクリート道路橋設計示方書 昭和39年(推定)	

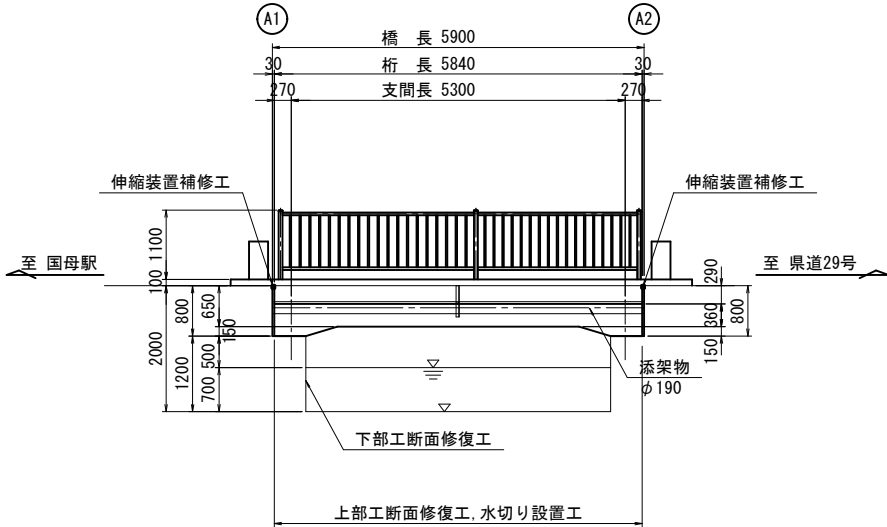
〈注記〉

1. 本図は既往の図書及び実測により作成した一般図である。

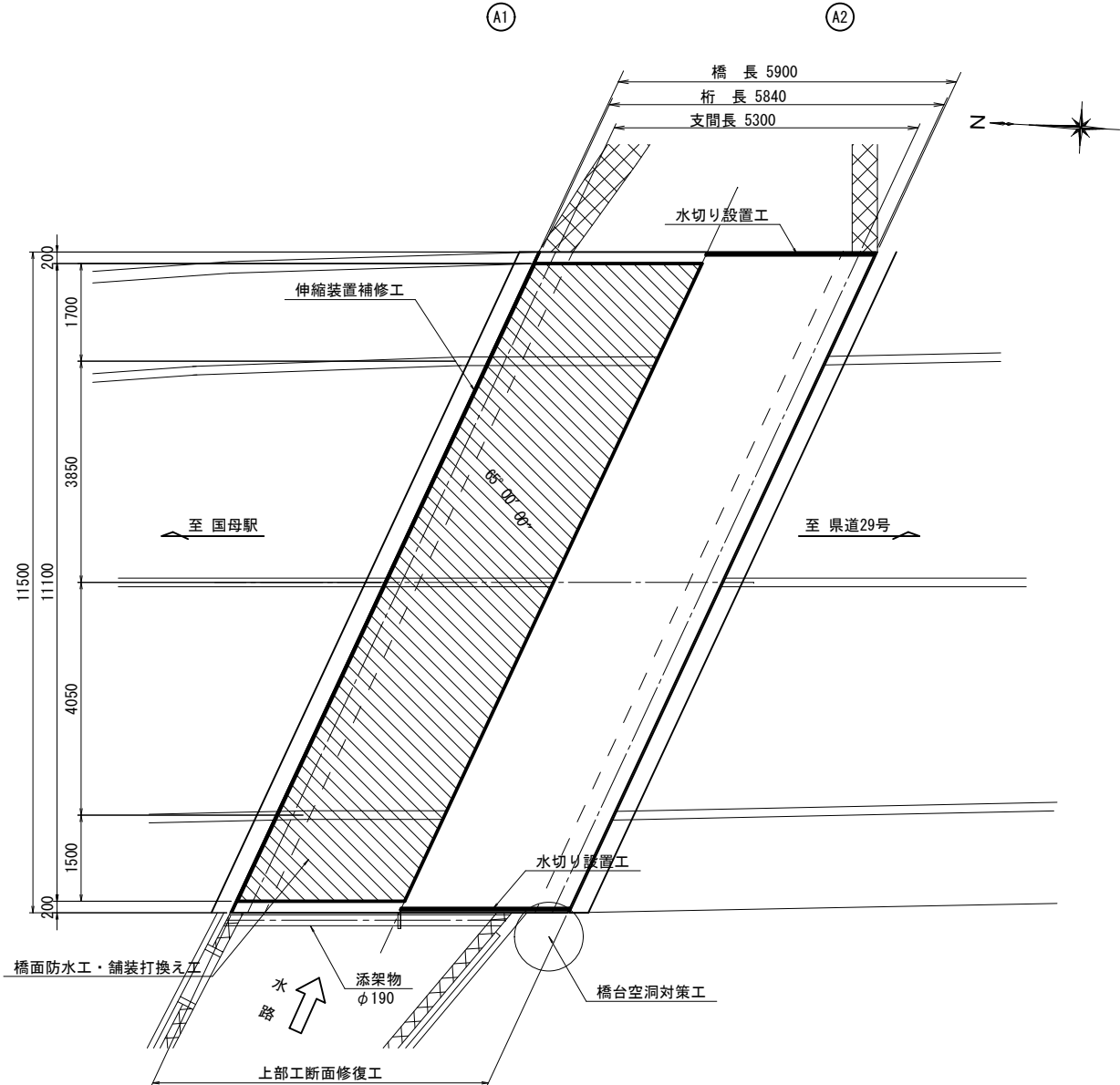
工 事 名	橋梁補修工（R7-3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 現況一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1／12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲 府 市		

大北橋 補修一般図

側面図 S=1:60

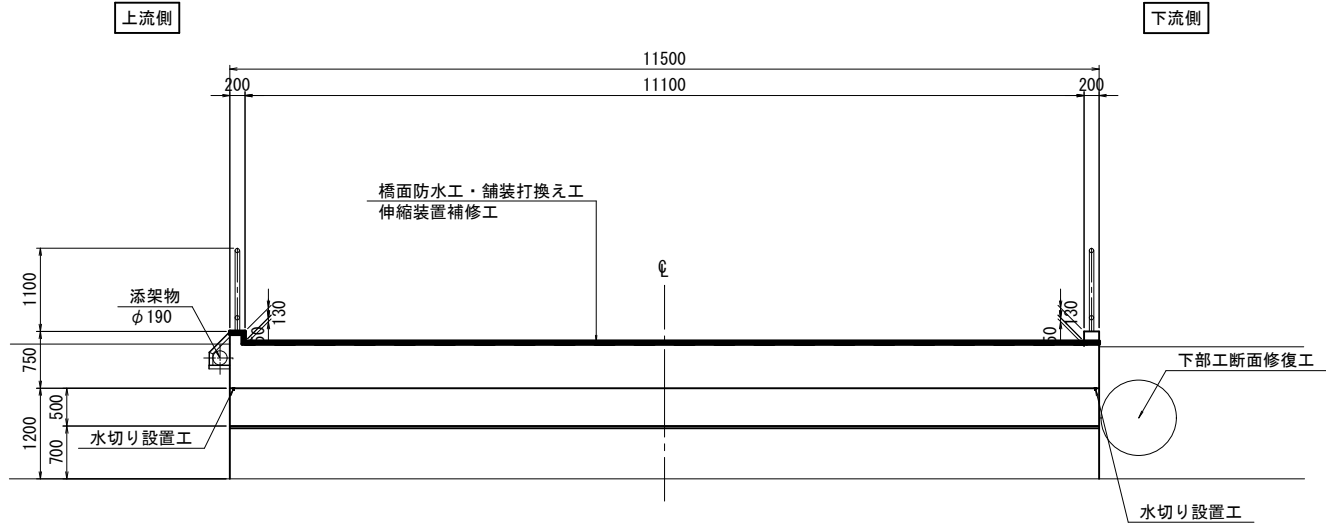


平面图 S=1:60

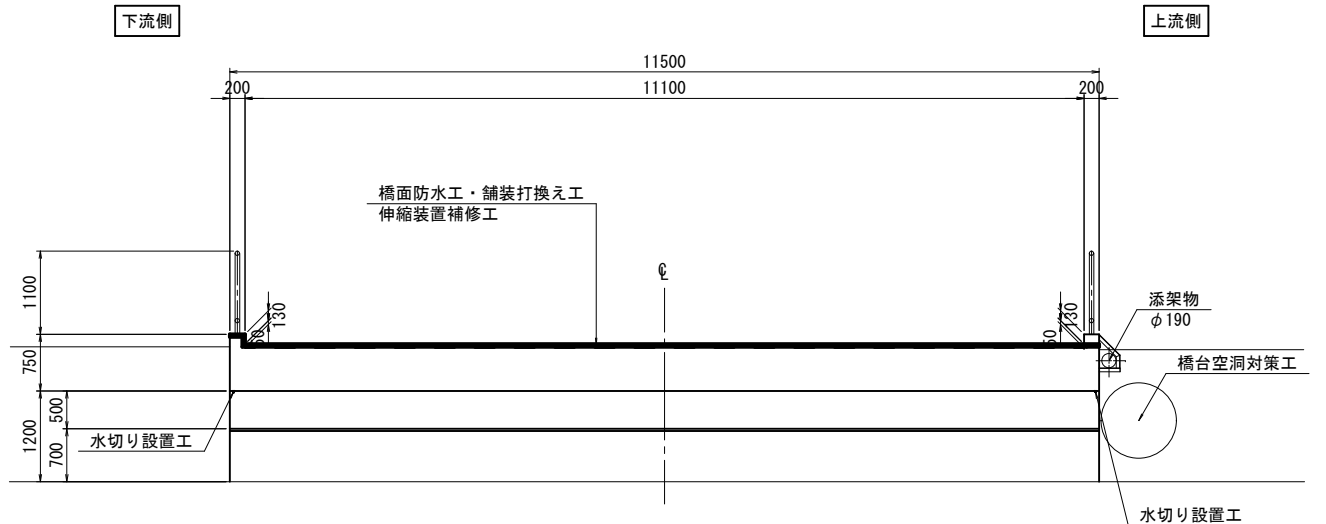


断面図 S=1:50

A1橋台



A2橋台



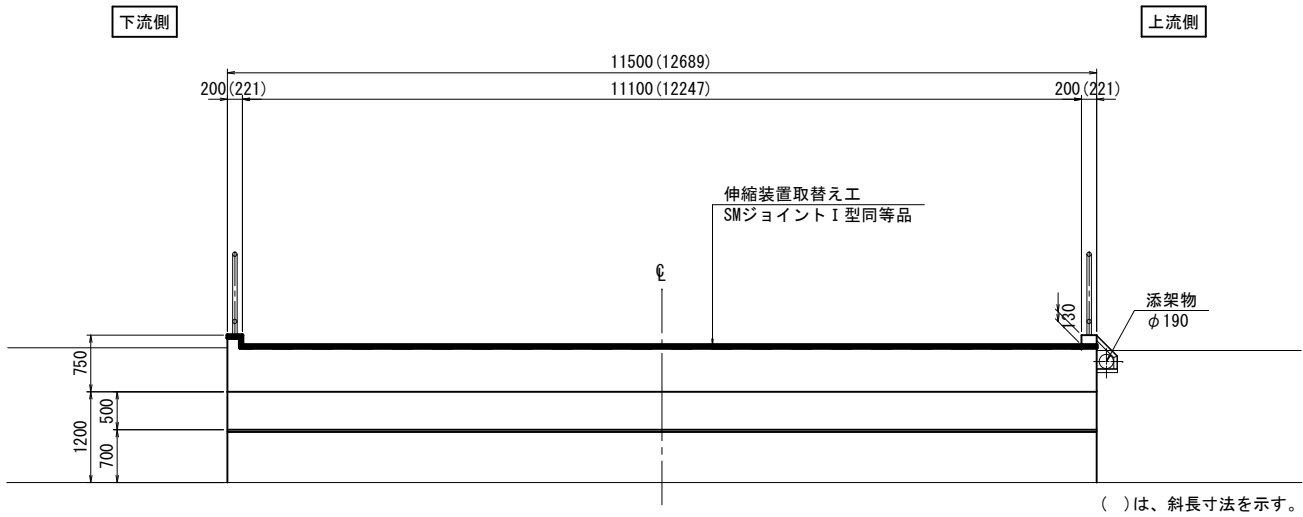
補修項目一覽表

補修	補修内容	施工箇所
	伸縮装置補修工	A1, A2橋台
	上部工断面修復工	地覆, 床版
	下部工断面修復工	A1橋台護岸
	橋面防水工・舗装打換え工	橋面全面
	水切り設置工	床版
	橋台空洞対策工	A2護岸

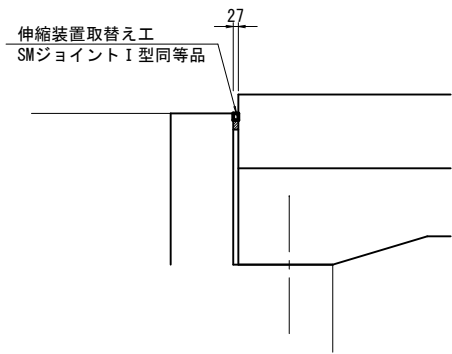
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－３）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 補修一般図		
縮 尺	図示	図面番号	2 / 1 2
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市

大北橋 伸縮装置取替え工図

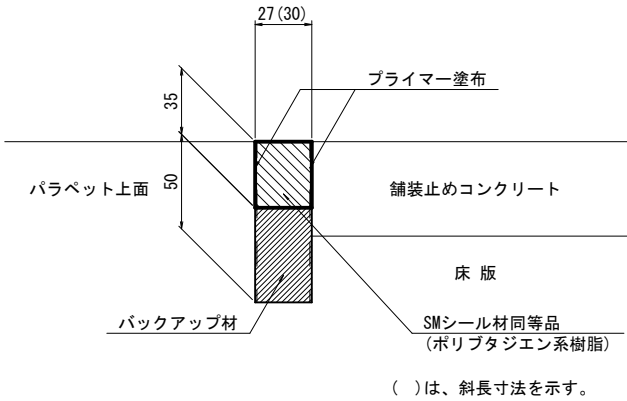
断面図 S=1:50



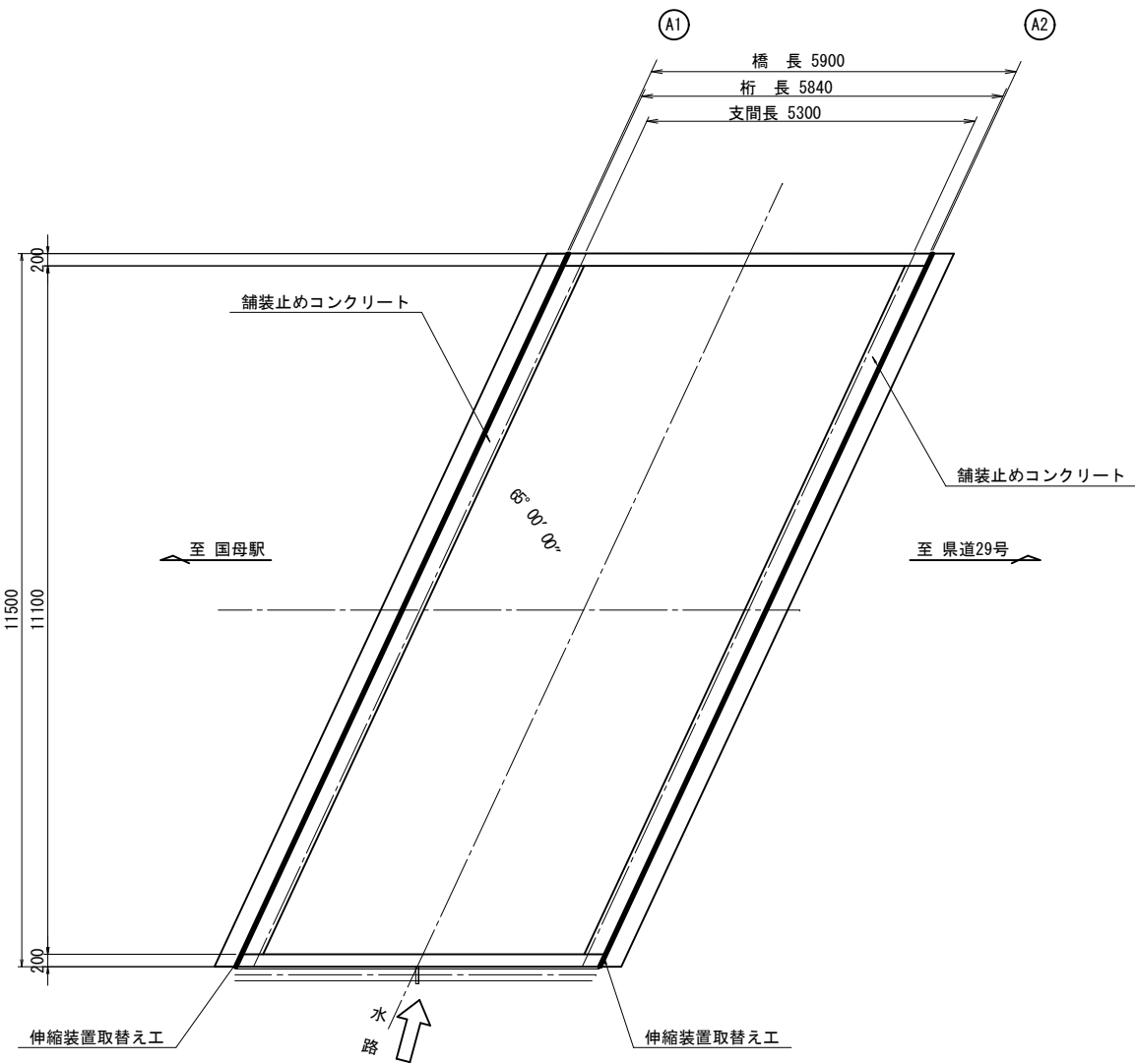
地覆部詳細図 S=1:20



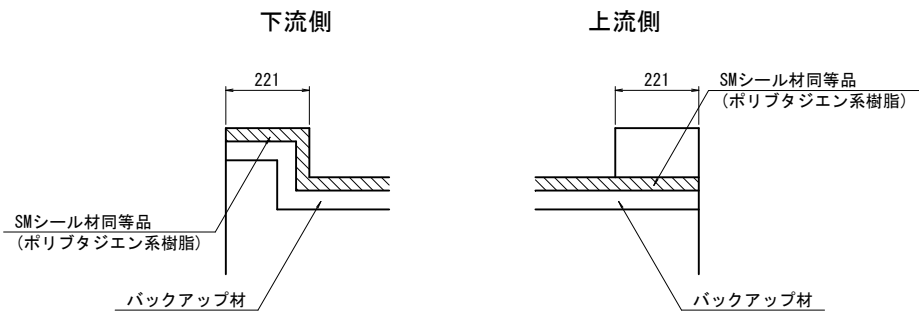
伸縮装置取替え工
(橋梁用遊間目地止水工) S=1:2



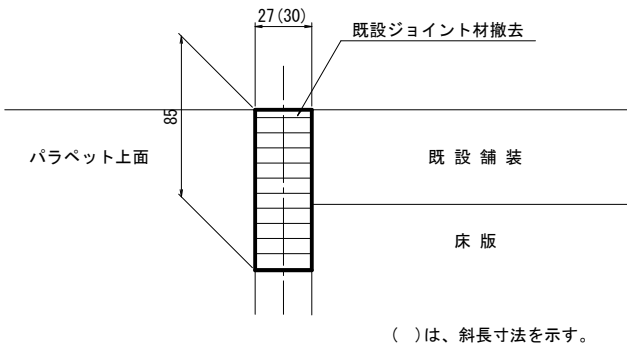
平面図 S=1:60



地覆部詳細図 S=1:10



既設撤去工 S=1:2

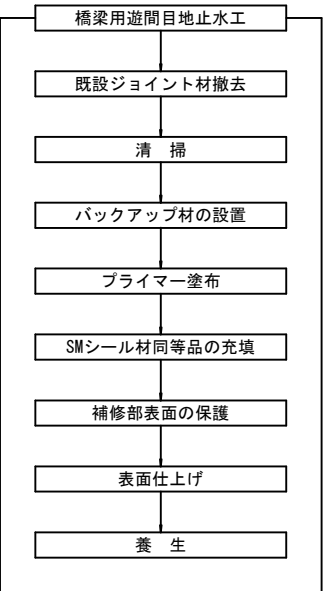


伸縮装置取替え工 数量表					1橋当り
名 称	品 名	単位	数 量	備 考	
補修延長	SMジョイントI型同等品	m	25.6		
SMシール材同等品	ポリブタジエン系樹脂	kg	26.9		
プライマー	専用プライマー	kg	0.3		
バックアップ材		m	25.6		

撤去及び他 数量表					1橋当り
名 称	仕 様	単位	数 量	備 考	
既設撤去	目地材	m	25.6		

- <注記>
1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
 2. 地覆立ち上げ部は、SMシール材の垂れ防止のため、型枠を当てながら施工すること。
 3. 伸縮装置端部は、バックアップ材が露出することのないよう、シール材を巻き込みながら仕上げること。

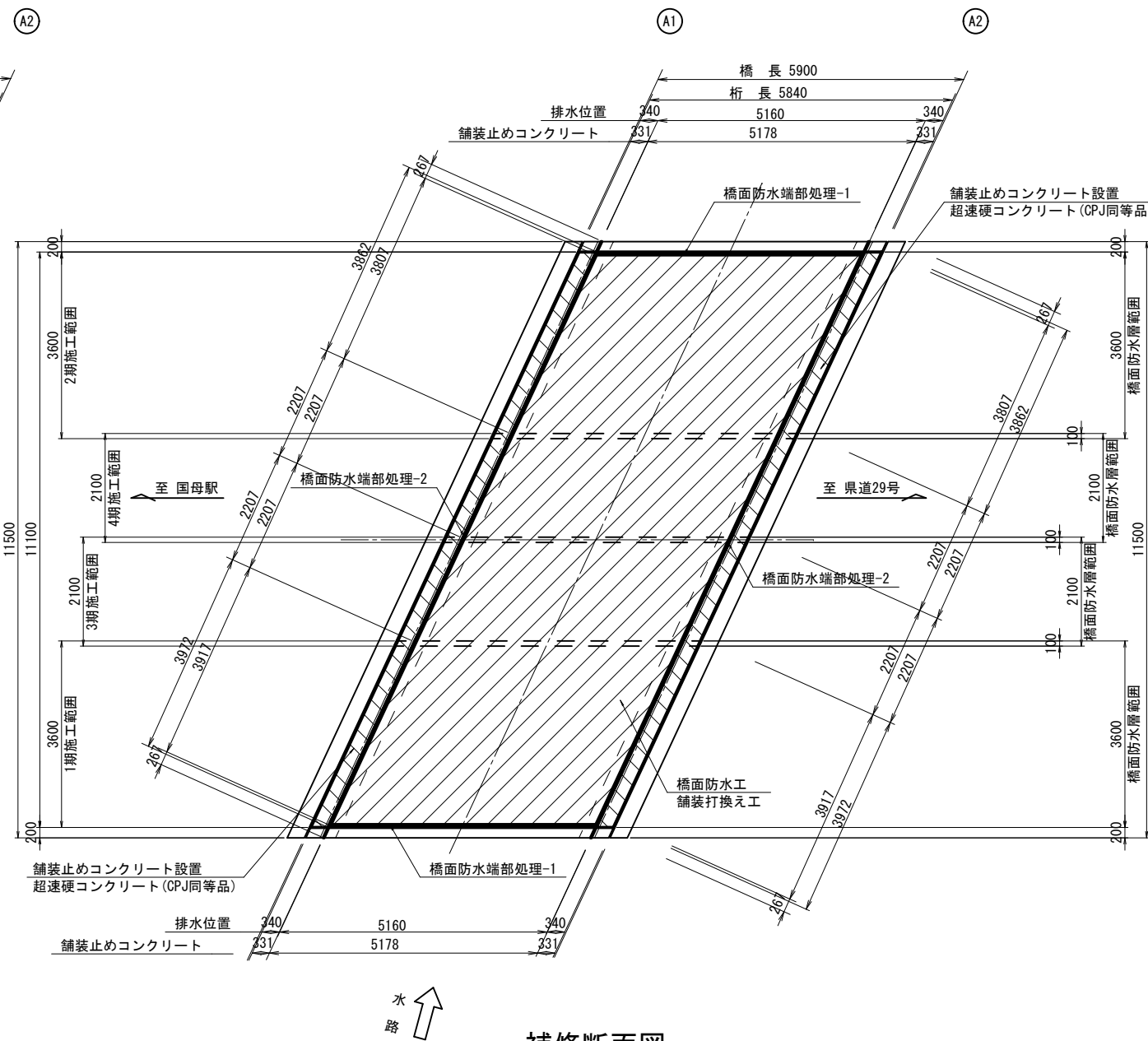
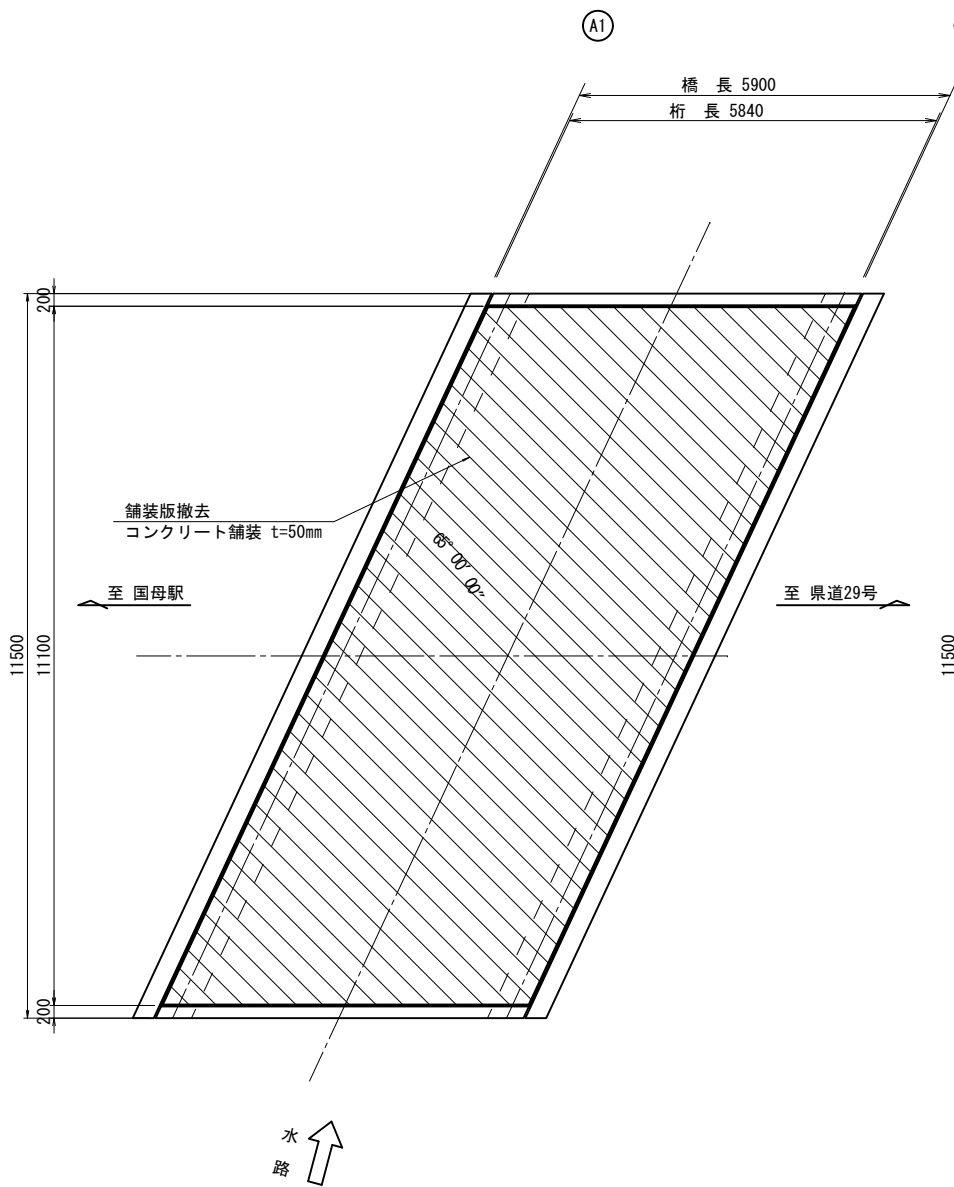
工 事 名	橋梁補修工事（R7－3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 伸縮装置取替え工図		
縮 尺	図示	図面番号	3 / 1 2
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市



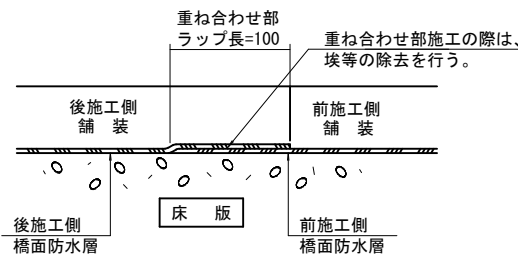
大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その1) S=1:60

舗装撤去平面図

舗装復旧平面図

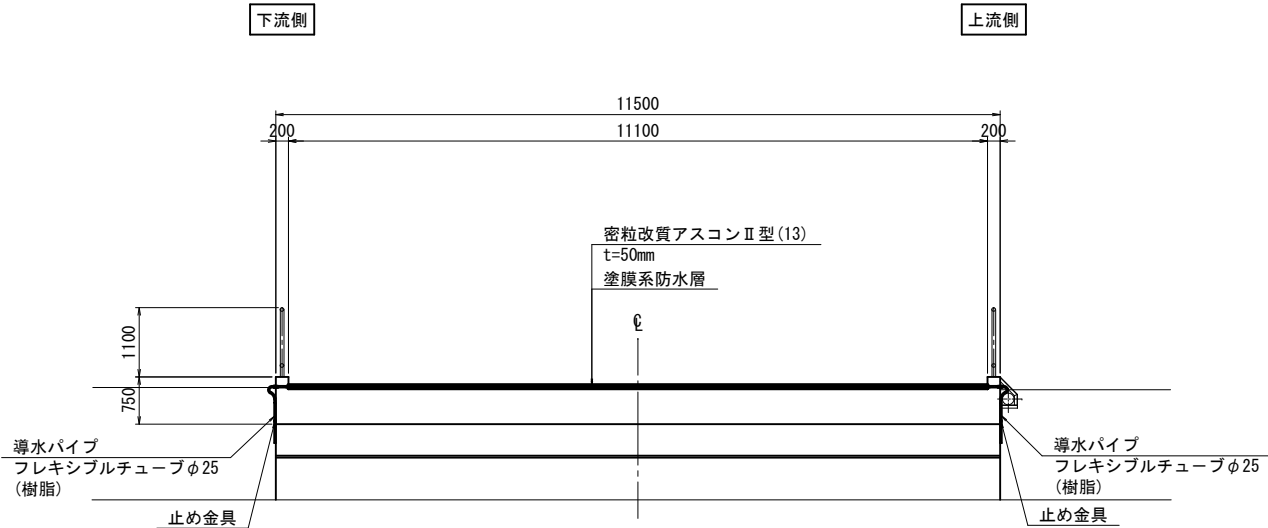


橋面防水重ね合わせ部処理 S=1:5
詳細図(参考)



既設撤去図

補修断面図

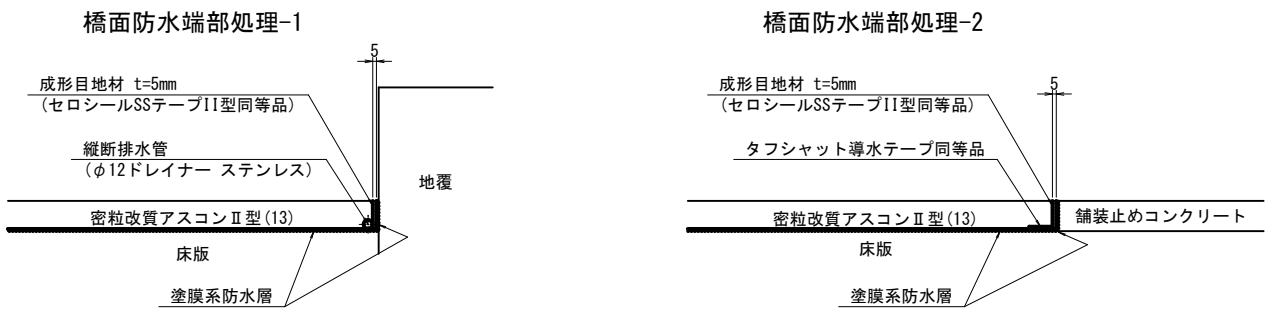


- 〈注記〉
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - コンクリート舗装を切削する際は、床版を削らないように注意して施工すること。
 - 設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
 - 分割施工する場合は、塗膜系防水層を重ね合わせて施工すること。
 - 既設舗装撤去後の上面に脆弱な箇所がある場合は、監督員と協議の上、適切に補修した上で舗装を舗設すること。
 - 水抜き孔の排水管は、地覆の鉄筋探索により既設鉄筋を避け、配置すること。
 - フレキシブルチューブの取付は、排水性を考慮し極端に曲げないように配置すること。

工 事 名	橋梁補修工事（R7－3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	4／12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その2)

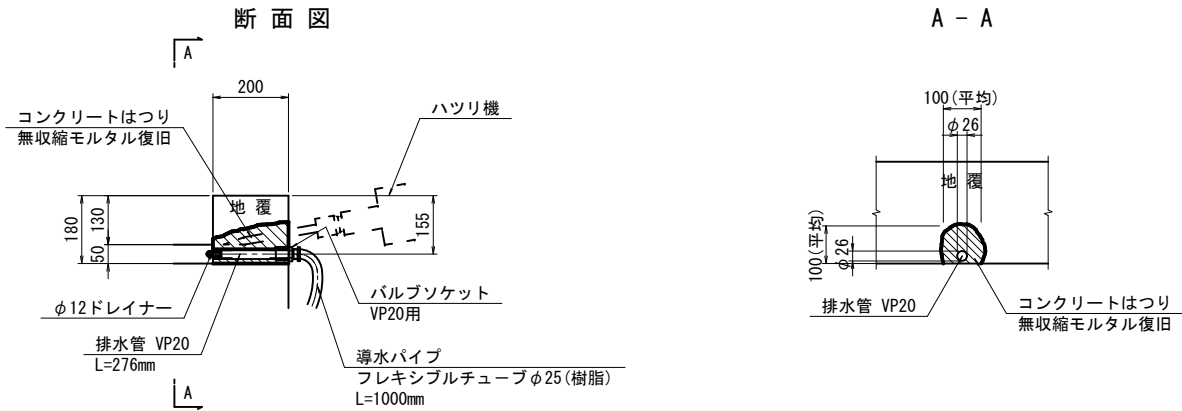
橋面防水端部処理詳細図 S=1:5



橋面防水工 数量表

		1橋当り		
細 別	規 格	単位	数 量	備 考
防水層面積	塗膜系防水層(アスファルト加熱型)	m2	60.0	
成形目地材	セロシールSSテープⅡ型同等品	m	34.9	
縦断排水管	φ12ドレイナー ステンレス同等品	m	10.3	
横断排水管	タフシャット導水テープ同等品	m	24.3	
排水管	VP20	m	1.1	
止め金具	コンクリート用	組	4	
無収縮モルタル		m3	0.01	
導水パイプ	フレキシブルチューブφ25(樹脂)	m	4.0	
鉄筋探査	横向き	m2	0.2	
既設コンクリート撤去		m3	0.01	参考重量0.03t
搬運搬処理		m3	0.01	

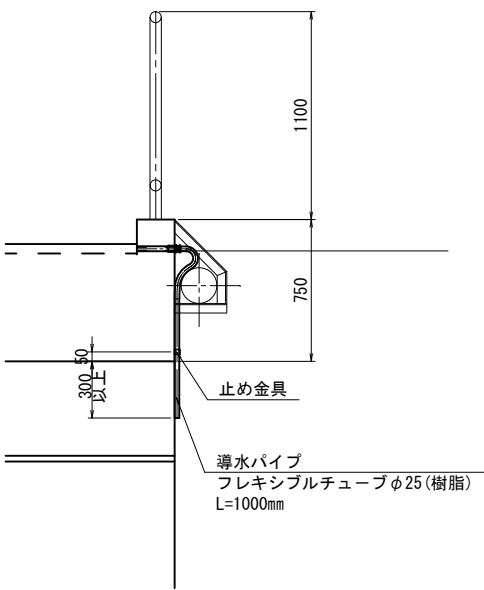
水抜き孔設置詳細 S=1:10



舗装打換え工 数量表

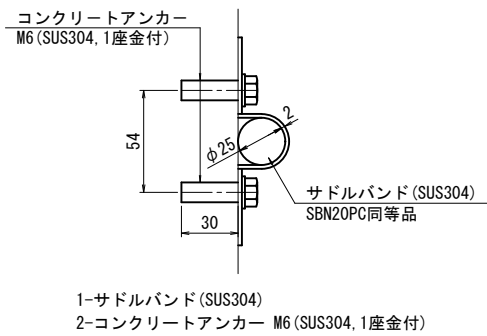
		1橋当り		
細 別	規 格	単位	数 量	備 考
車道舗装	t=50mm 密粒改質アスコンⅡ型(13)	m2	59.0	
舗装止めコンクリート	CPJ同等品	m3	0.4	
プライマー	#202JT同等品	kg	9.2	
舗装版とりこわし	t=50mm(コンクリート舗装)	m2 m3	59.0 3.0	参考重量6.9t
カッター工	コンクリート舗装	m	15.5	
カッター工	アスファルト舗装	m	15.5	

導水パイプ取付部詳細 S=1:20

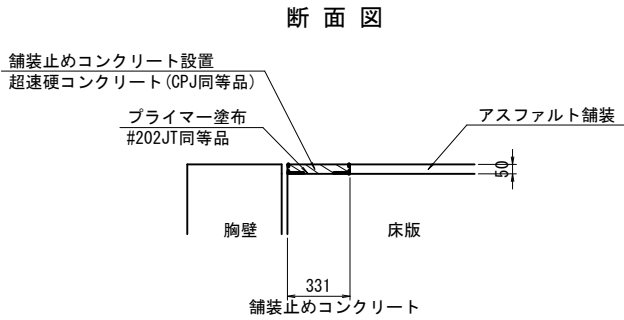


コンクリート用止め金具詳細 S=1:2

製作数:4組



舗装止めコンクリート部詳細図 S=1:20



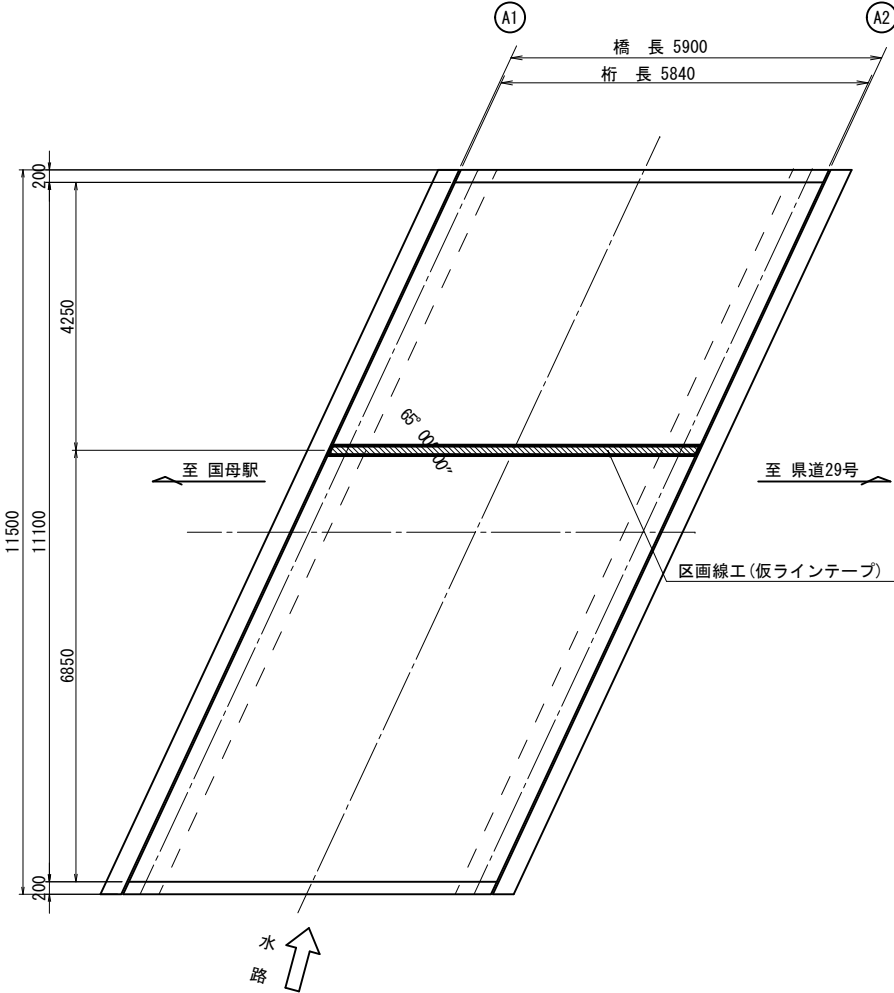
- ＜注記＞
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - コンクリート舗装を切削する際は、床版を削らないように注意して施工すること。
 - 設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
 - 分割施工する場合は、塗膜系防水層を重ね合わせて施工すること。
 - 既設舗装撤去後の上面に脆弱な箇所がある場合は、監督員と協議の上、適切に補修した上で舗装を舗装すること。
 - 水抜き孔の排水管は、地覆の鉄筋探査により既設鉄筋を避け、配置すること。
 - フレキシブルチューブの取付は、排水性を考慮し極端に曲げないように配置すること。

工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ７－３）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	5／12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

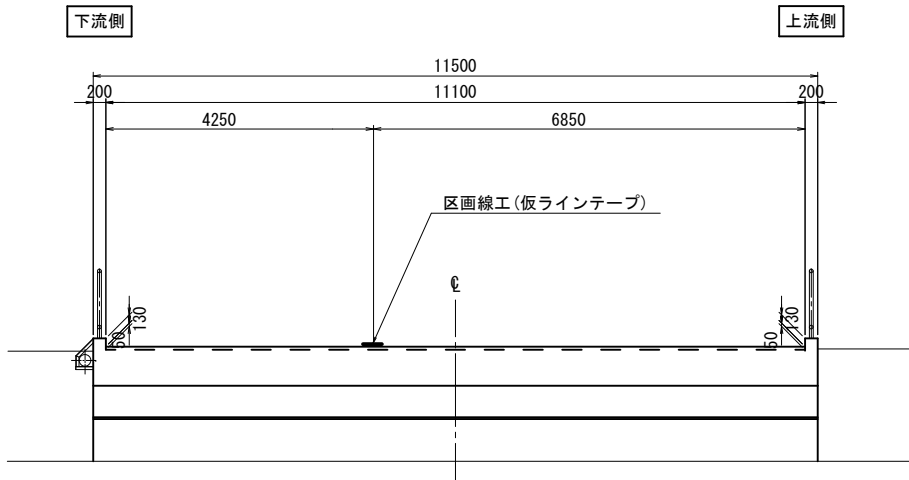
大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その3) (参考図) S=1:60

(区画線工)

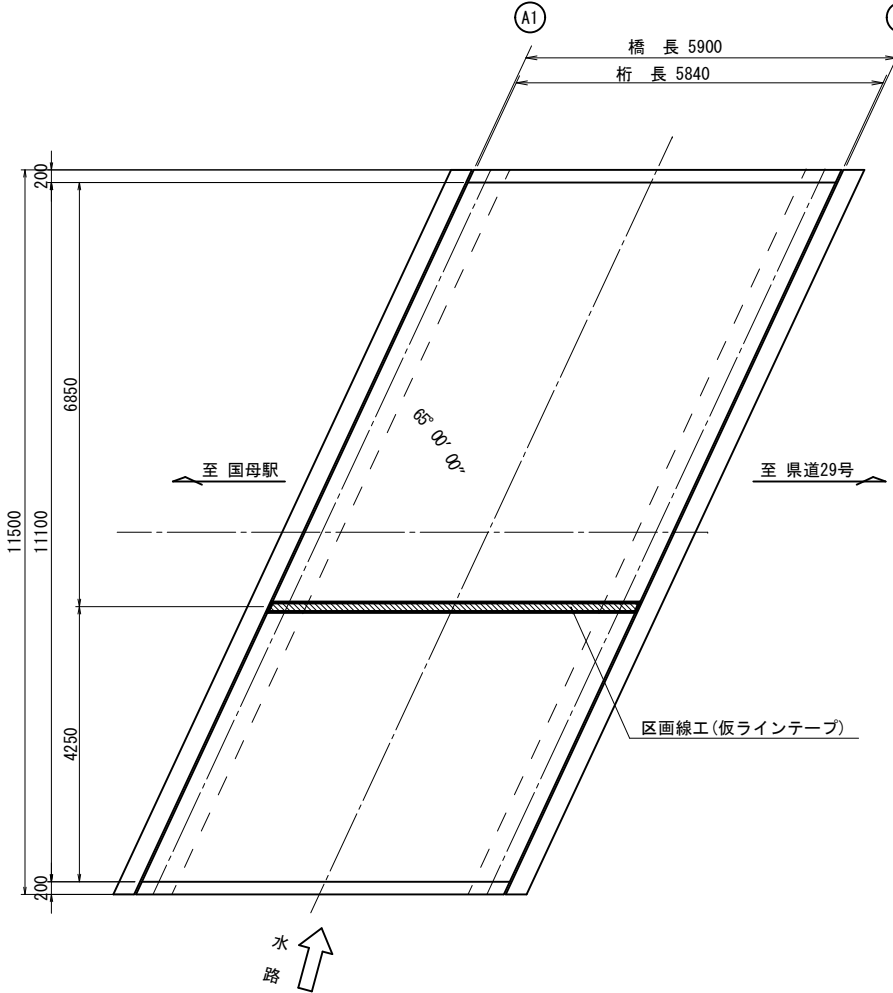
1期施工時
平面図



補修断面図



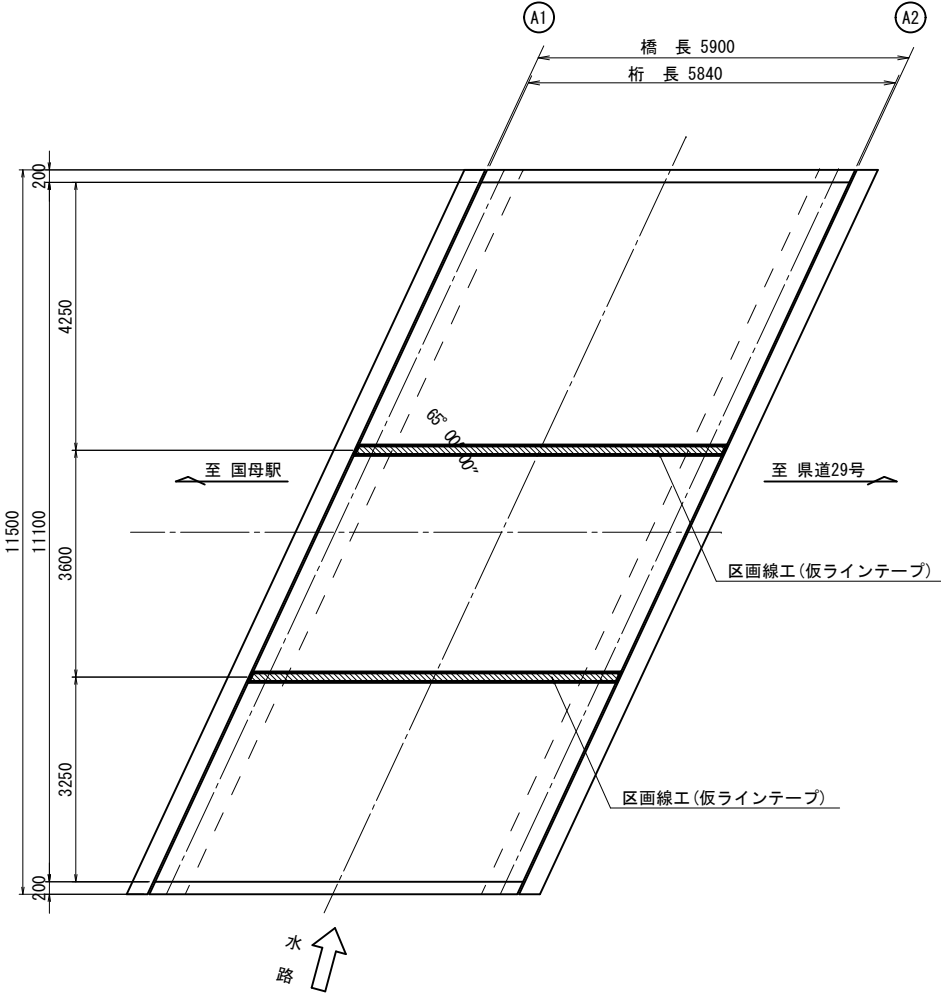
2期施工時
平面図



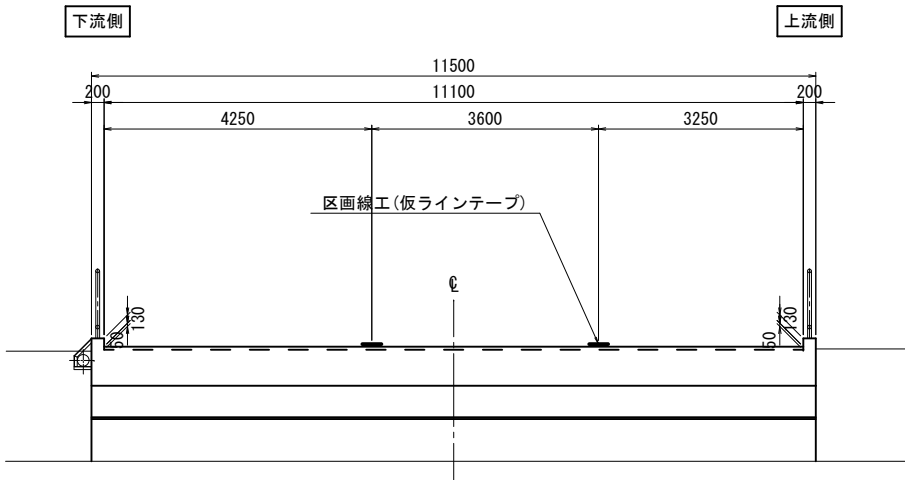
補修断面図



3期施工時
平面図



補修断面図



〈注記〉

1. 区画線は、橋梁前後の既存区画線との連続性を考慮して復旧すること。
2. 仮ラインテープは、既存区画線との連続性を考慮して設置すること。
橋梁前後の部分も含めて必要に応じて、監督員との協議の上、仮ラインテープを設置する位置を決定すること。

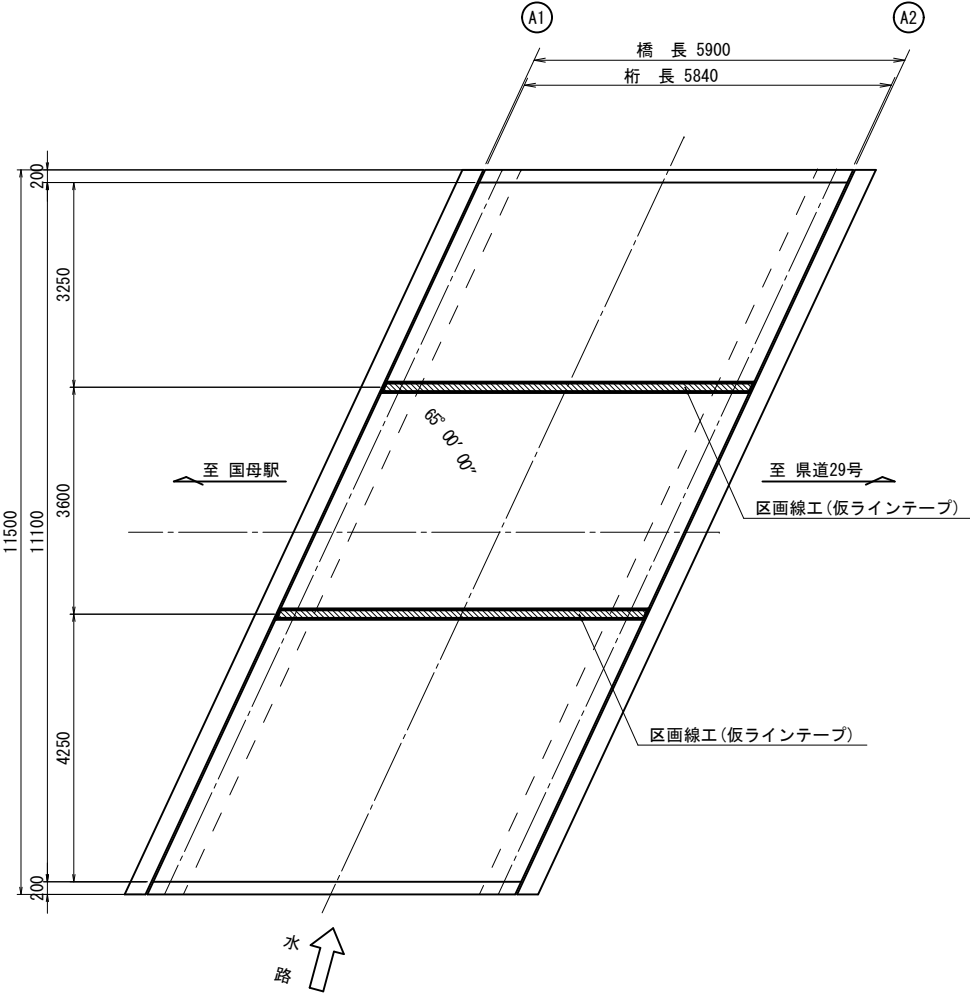
工事名	橋梁補修工事 (R7-3)		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路線名	国母工業団地8号線		
図面名	大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その3) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	6/12
会社名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市

大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その4)

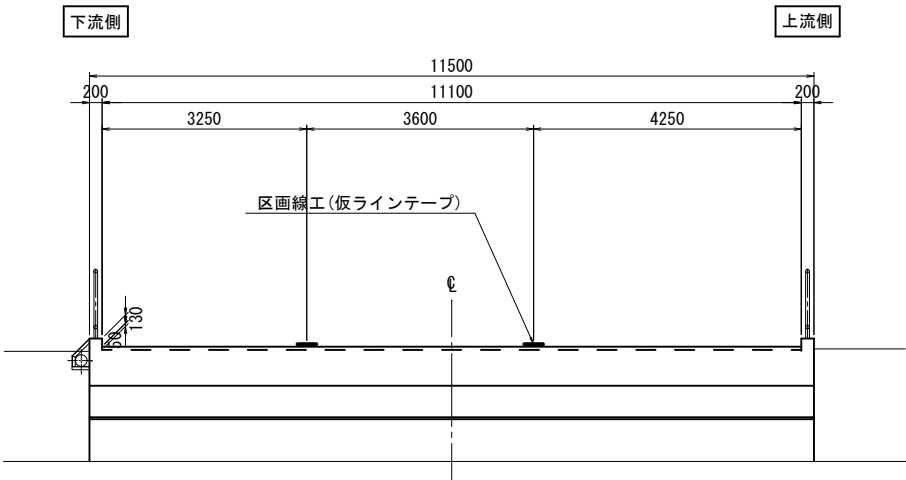
S=1:60

(区画線工)

4期施工時
平面図



補修断面図

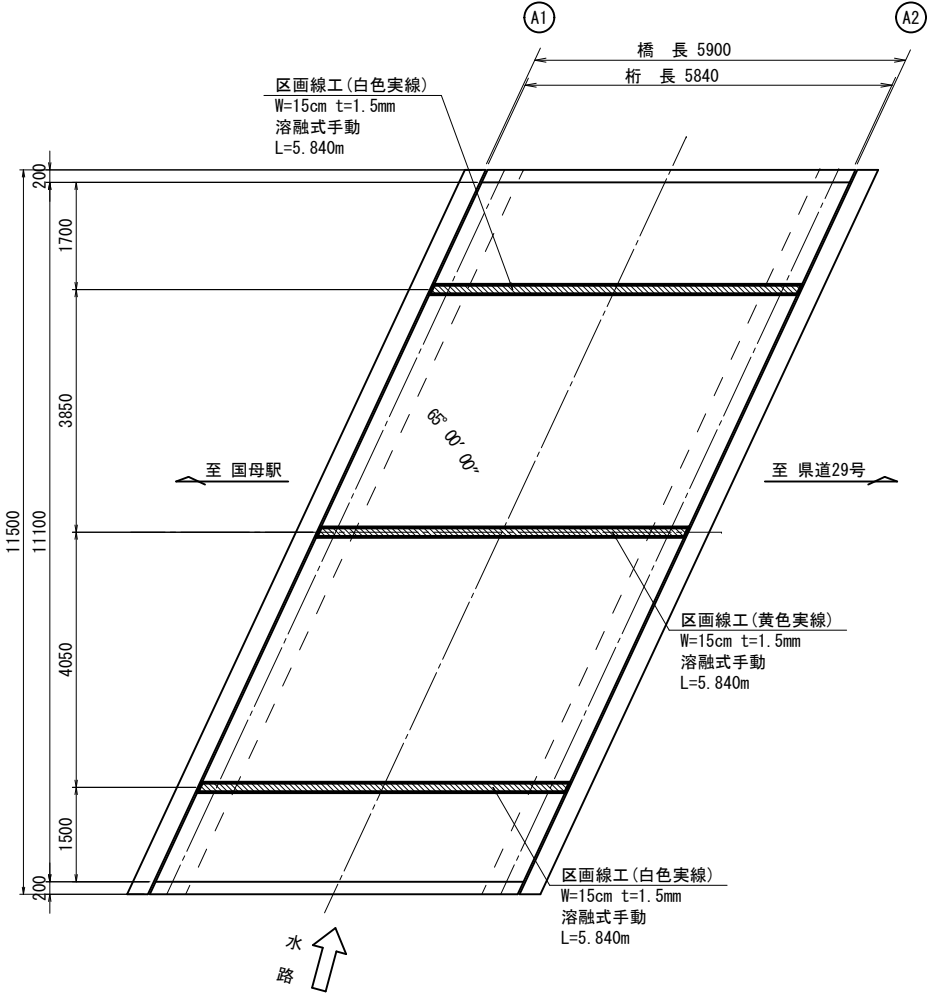


区画線工 数量表

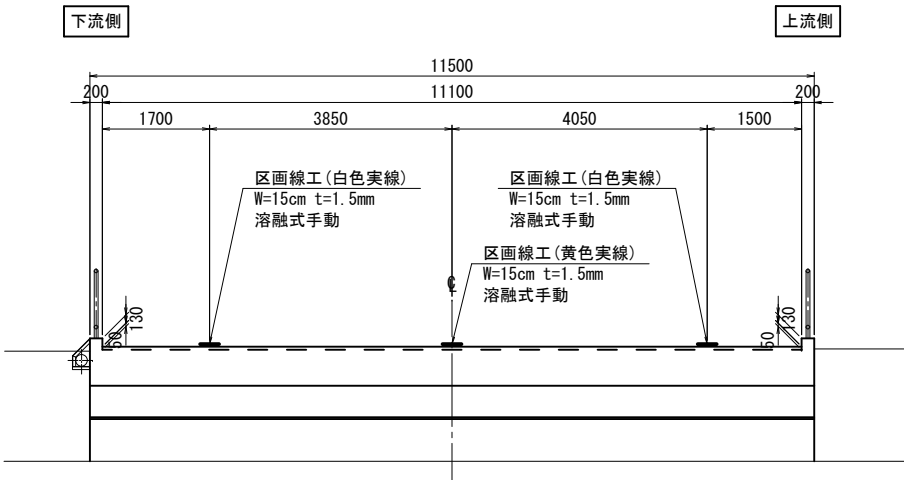
項目	単位	数量	摘要
区画線工	白色実線	m	11.7
区画線工	黄色実線	m	5.8

1橋当り

本復旧
平面図



補修断面図



〈注記〉

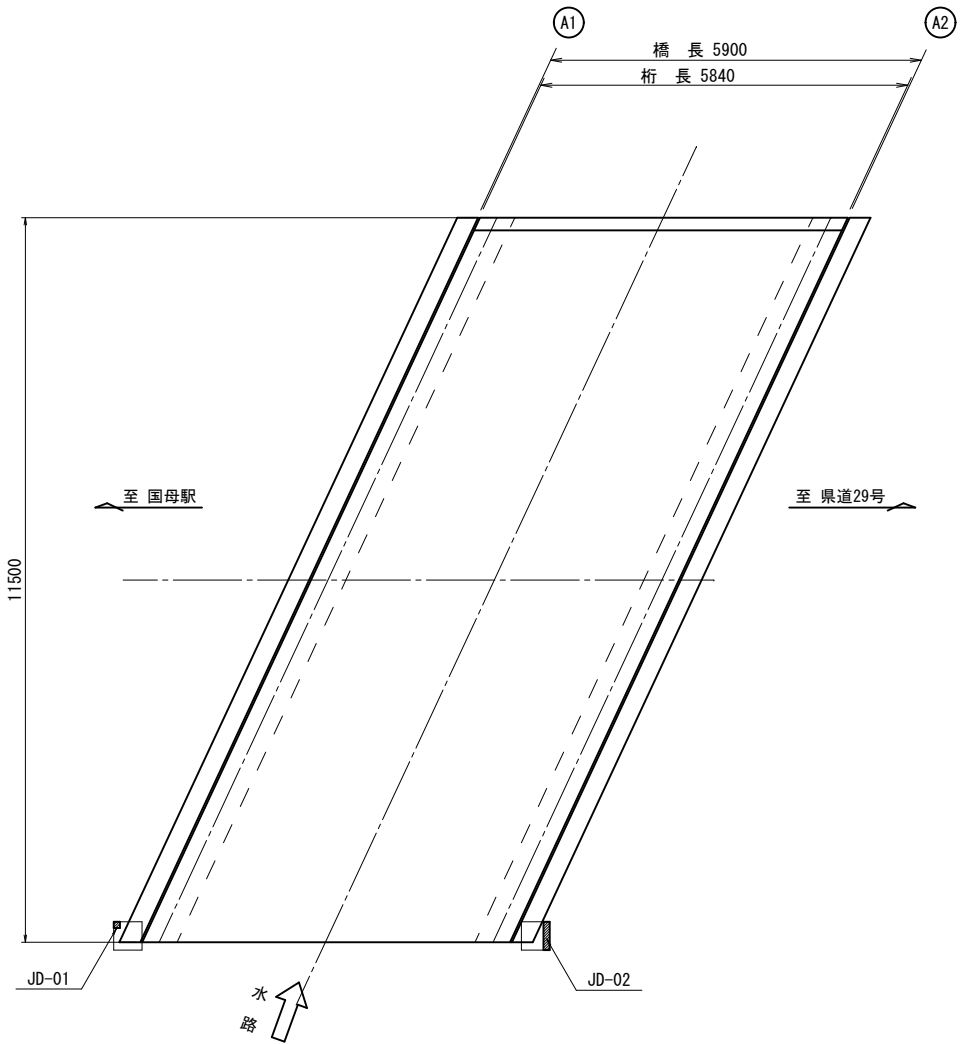
- 区画線は、橋梁前後の既存区画線との連続性を考慮して復旧すること。
- 仮ラインテープは、既存区画線との連続性を考慮して設置すること。
橋梁前後の部分も含めて必要に応じて、監督員との協議の上、仮ラインテープを設置する位置を決定すること。

工事名	橋梁補修工事（R7-3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路線名	国母工業団地8号線		
図面名	大北橋 橋面防水工・舗装打換え工図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	7/12
会社名	大日コンサルタント株式会社		
甲	府	市	

大北橋 上部工断面修復工図

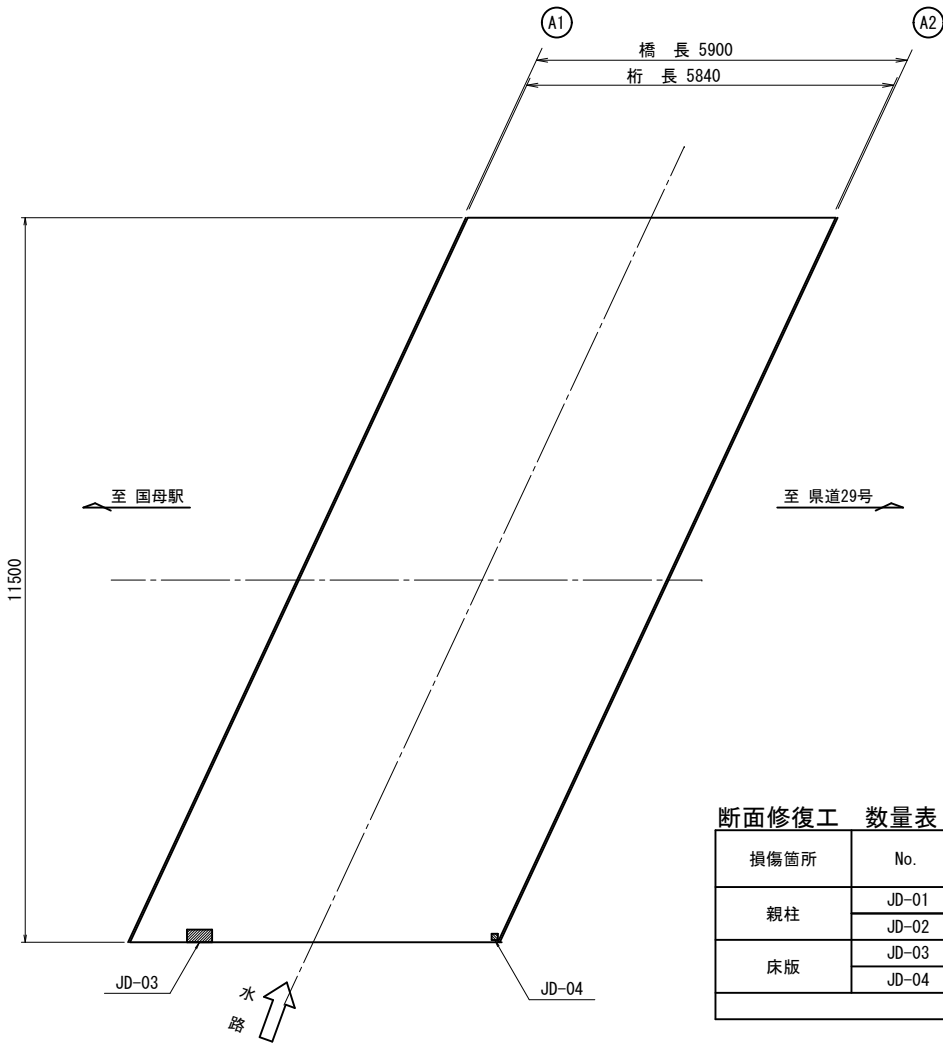
平面図 S=1:60

橋面



平面図 S=1:60

桁下

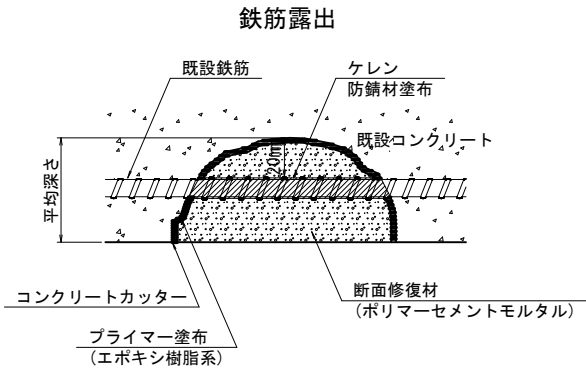


断面修復工 数量表

		1橋当り	
損傷箇所	No.	W×L×平均深さ (m)	V (m3)
親柱	JD-01	0.100×0.100×0.070	0.0007
	JD-02	0.100×0.450×0.070	0.0032
床版	JD-03	0.200×0.400×0.070	0.0056
	JD-04	0.100×0.100×0.070	0.0007
施工量合計			0.0102

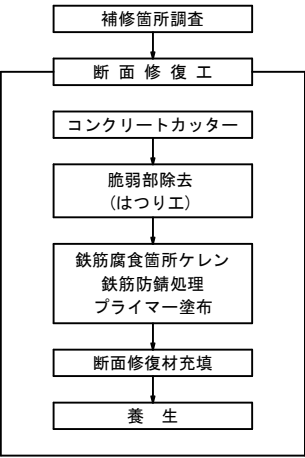
断面修復工詳細図(参考)

(鉄筋ケレン・防錆処理を含む場合)

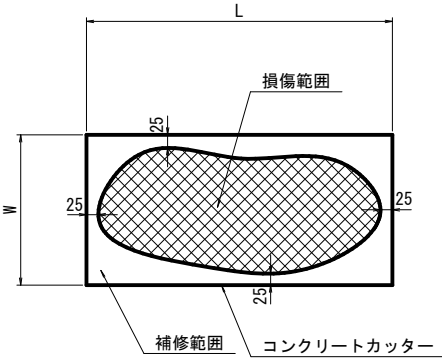


- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

施工手順



断面修復範囲図



※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

コンクリート殻処理 数量表

		1橋当り	
損傷箇所	W×L×平均深さ (m)	V (m3)	備考
上部工	施工量合計	0.0102	参考重量 W=0.02t

旗揚げ凡例



識別記号

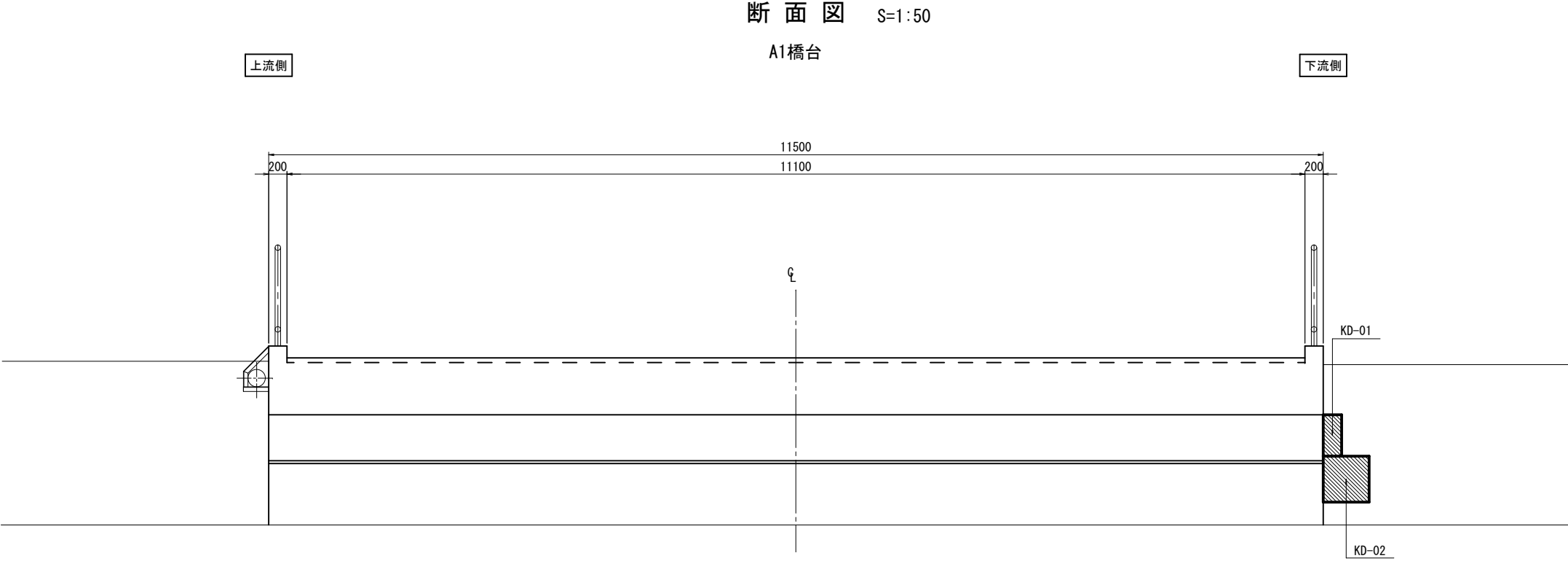
	施工箇所
JD-00	上部工

〈注記〉

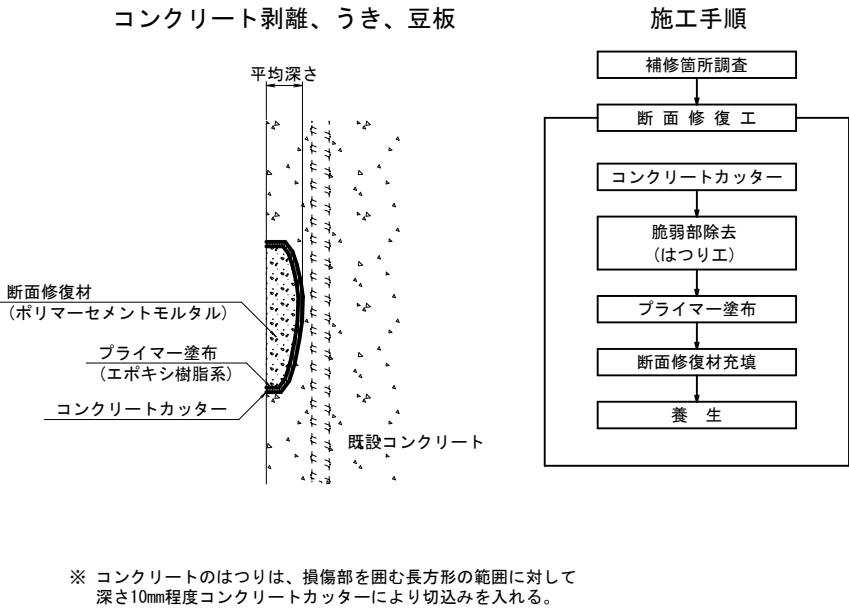
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
2. 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
3. 脆弱部は、はつり落とすこと。
4. カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
5. 断面修復の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるので劣化状況を確認すること。

工 事 名	橋梁補修工事（R7－3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 上部工断面修復工図		
縮 尺	図示	図面番号	8 / 12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

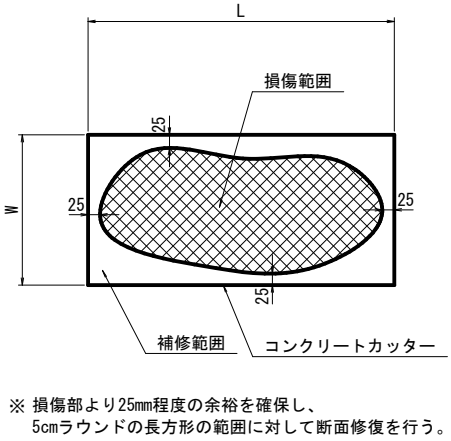
大北橋 下部工断面修復工図



断面修復工 詳細図(参考)
(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない場合)



断面修復範囲図



- ＜注記＞
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
 2. 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 3. 脆弱部は、はつり落とすこと。
 4. カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
 5. 断面修復の範囲は、「現地調査」等に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるので劣化状況を確認すること。

断面修復工 数量表（鉄筋ケレン・防錆処理含まない） 1橋当り

損傷箇所	No.	W×L×平均深さ(m)	V (m3)
A1橋台護岸	KD-01	0.450×0.200×0.030	0.0027
	KD-02	0.500×0.500×0.030	0.0075
施工量合計			0.0102

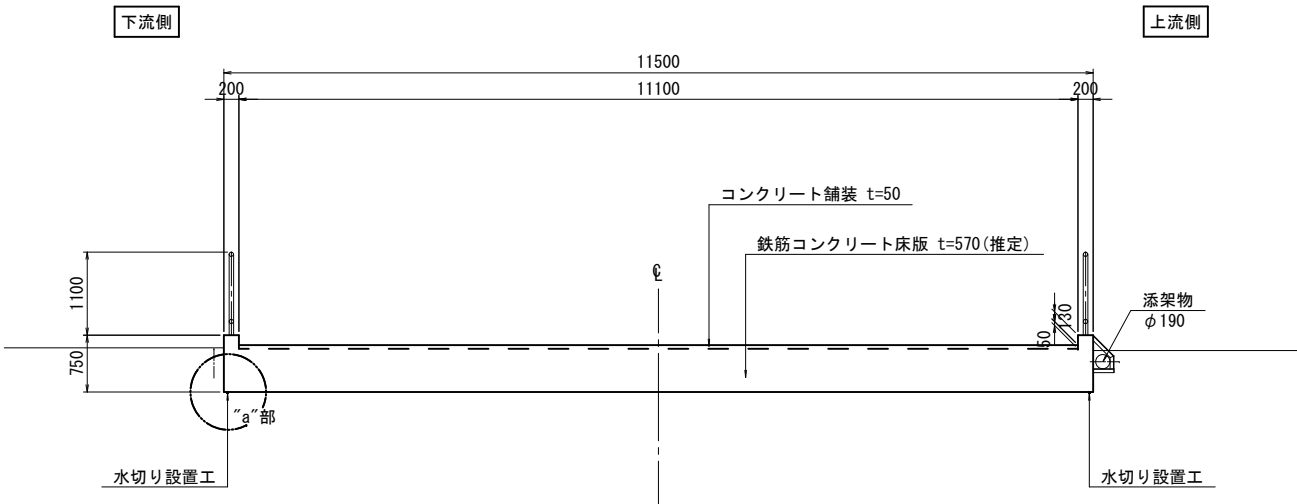
コンクリート殻処理 数量表

損傷箇所	W×L×平均深さ(m)	V (m3)	備考
上部工	施工量合計	0.0102	参考重量 W=0.02t

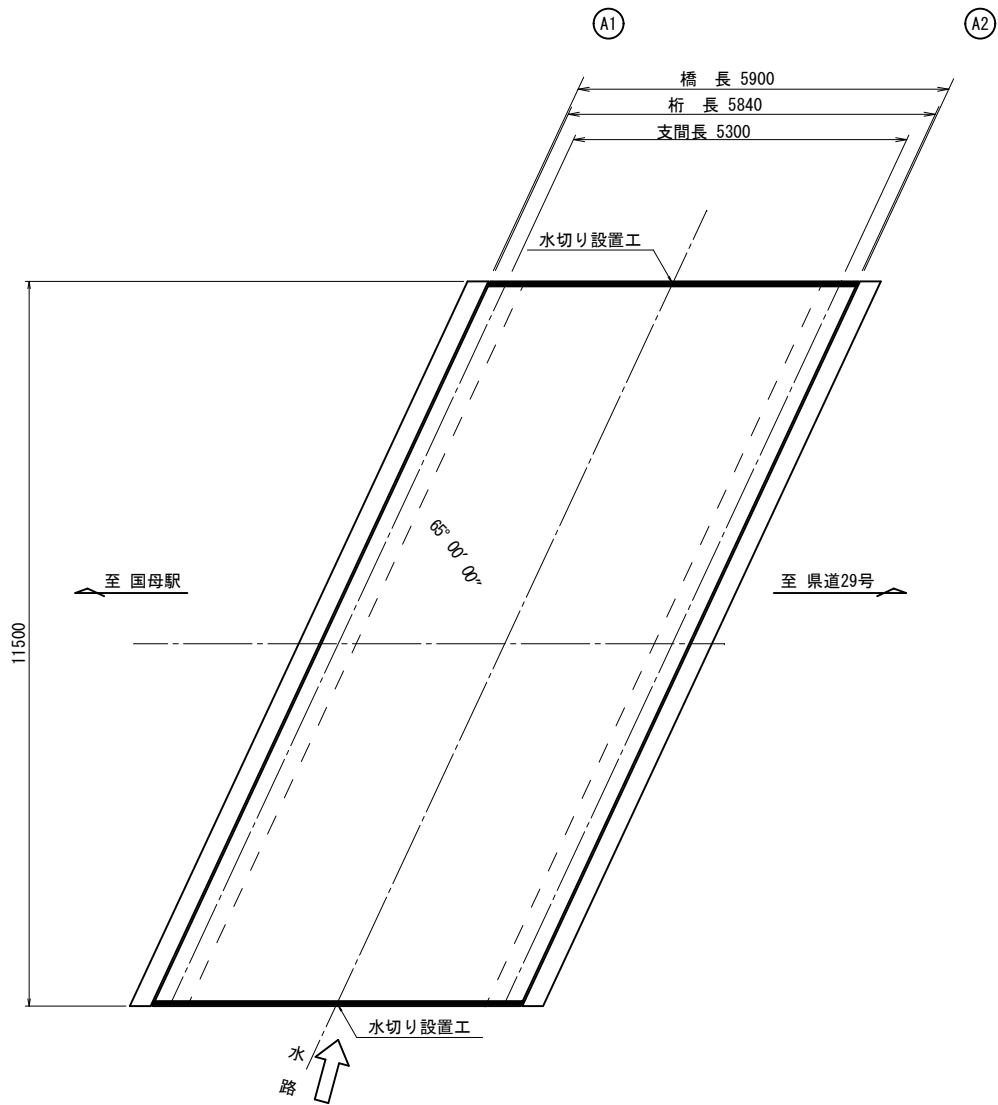
工 事 名	橋梁補修工事（R7-3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 下部工断面修復工図		
縮 尺	図示	図面番号	9/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市

大北橋 水切り設置工図

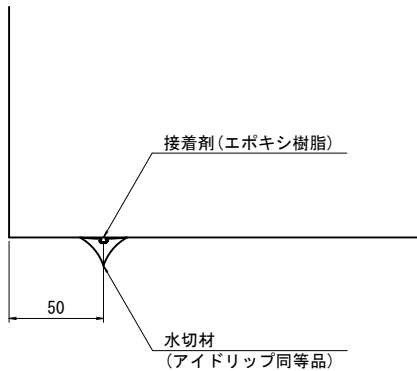
断面図 S=1:50



平面図 S=1:60

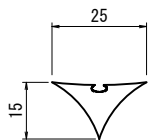


“a”部詳細図 S=1:2



水切材形状図 S=1:1

(アイドリッパ同等品)



水切り設置工 数量表

項目		規格	単位	数量	摘要
水切材		アイドリッパ同等品	m	11.7	
表面処理			m2	0.3	水洗い

1橋当り

〈注記〉

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- 水切り設置面は十分に埃等の除去、清掃を行うこと。
- 本施工は断面修復後に行うこと。

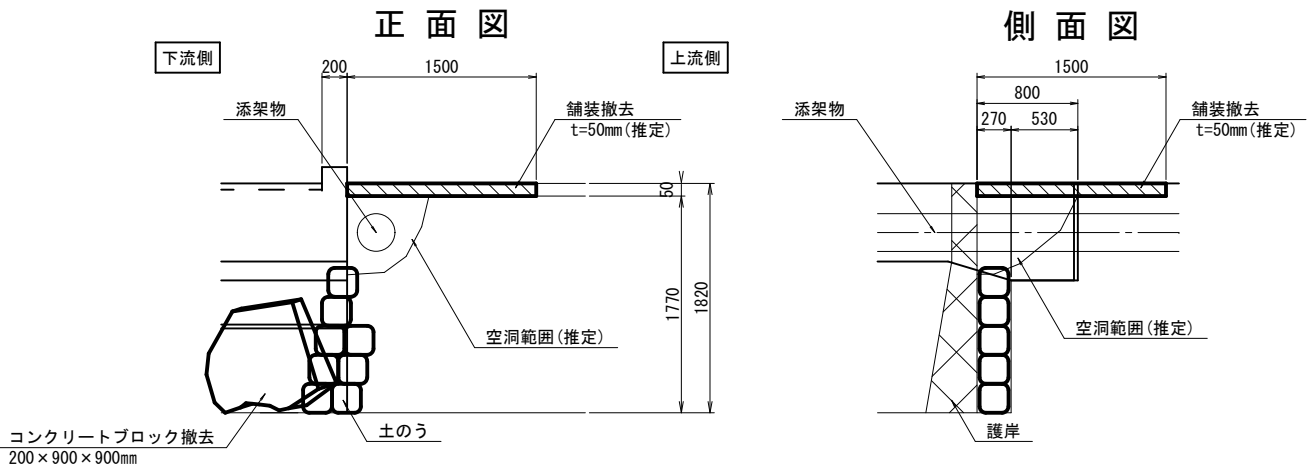
工 事 名	橋梁補修工事（R7－3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 水切り設置工図		
縮 尺	図示	図面番号	10／12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			

大北橋 空洞対策工図
A2橋台

S=1:20

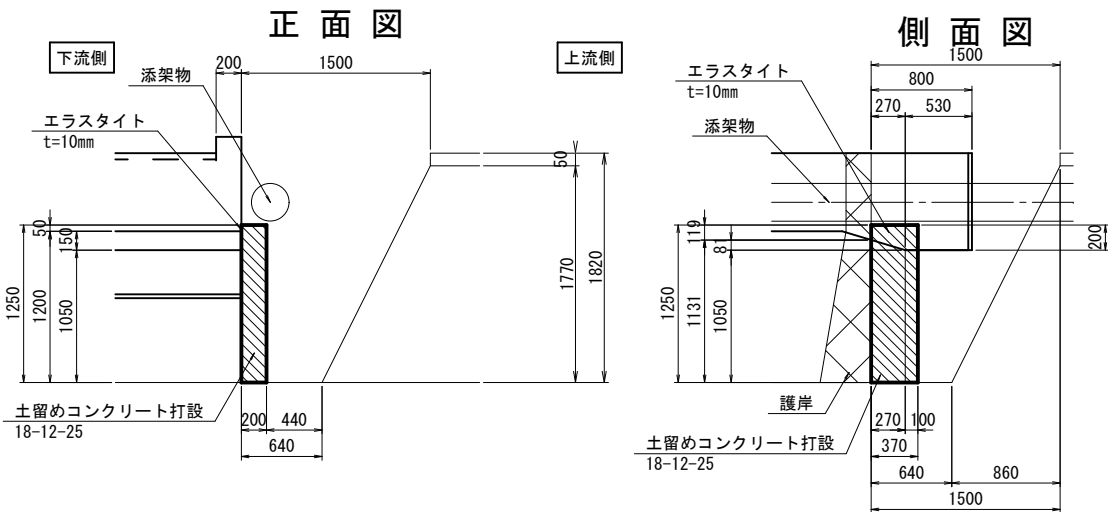
STEP① アスファルト舗装撤去

※ 舗装を撤去し、空洞範囲を確認する。



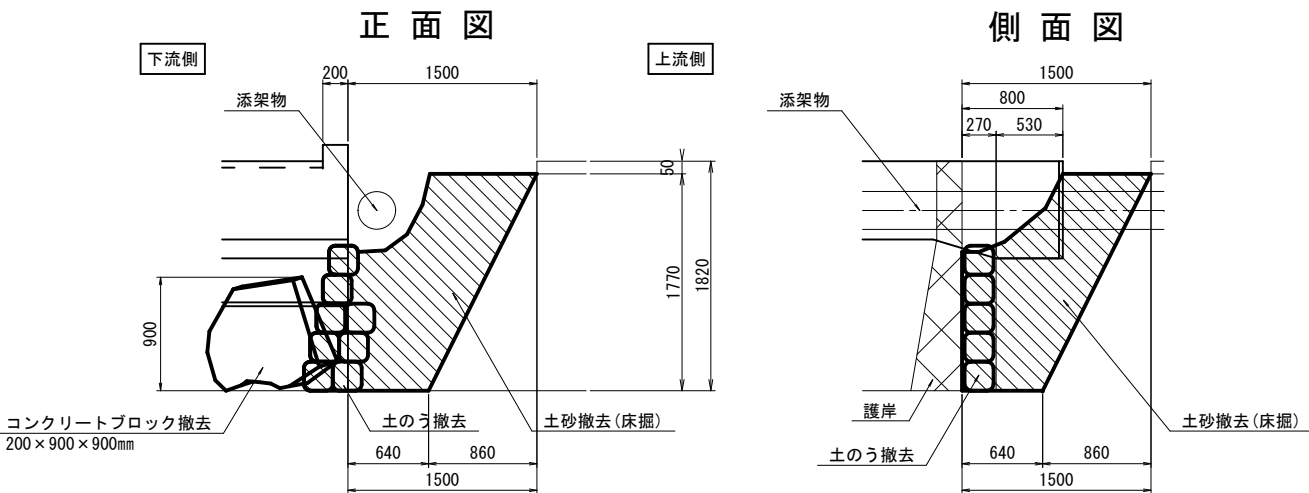
STEP③ 型枠設置, 土留めコンクリート打設

※ 型枠設置後にコンクリートを打設する。
※ 土留めコンクリートと既設上部工との間にエラストイトを設置する。



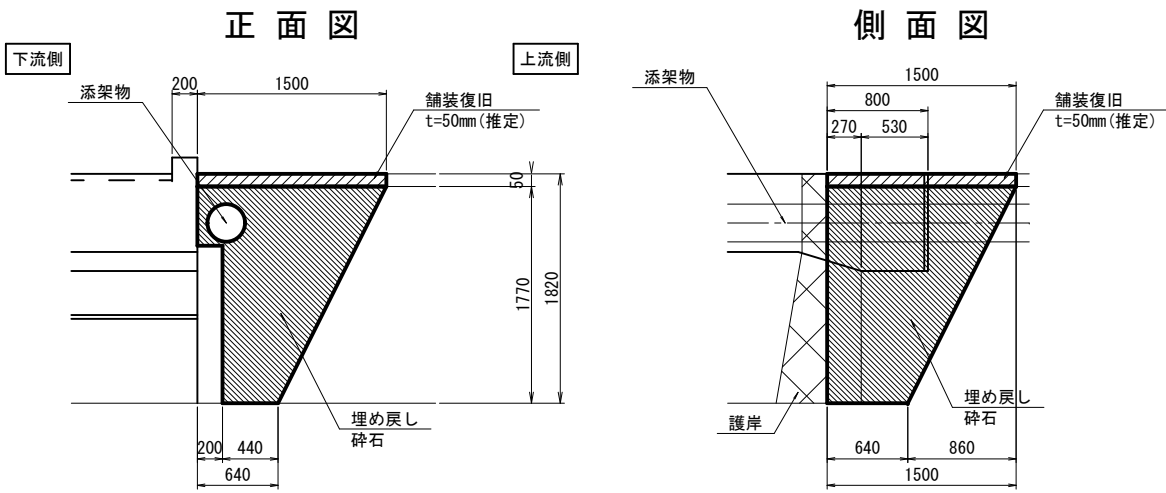
STEP② 土砂撤去, コンクリートブロック・土のう撤去

※ 土砂を撤去する。(埋設物に注意)
※ コンクリートブロック・土のうを撤去する。



STEP④ 型枠撤去, 埋戻し, アスファルト舗装復旧

※ 型枠撤去後に埋戻しを行う。
※ アスファルト舗装を復旧する。



空洞対策工 数量表

1橋当り

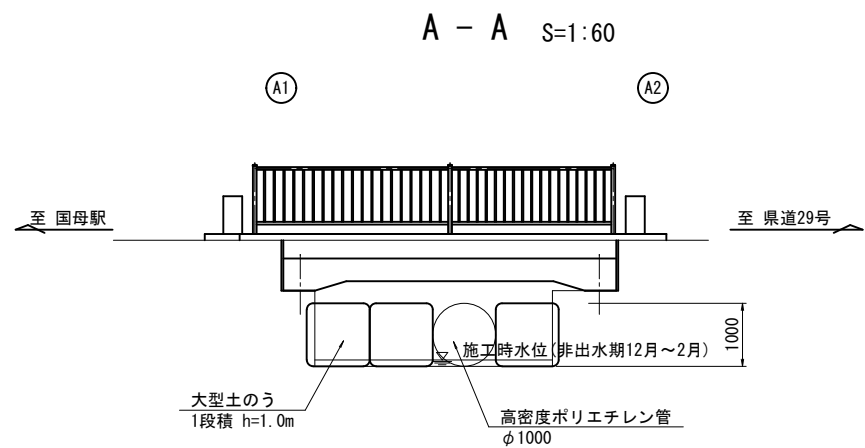
細 別	規 格	単 位	数 量	備 考
コンクリート	18-12-25	m3	0.1	
型枠		m2	1.0	
エラストイト	t=10mm	m2	0.1	
駐車場舗装	t=50mm 密粒密粒度アスコン(13)	m2	2.3	
舗装版とりこわし	t=50mm(アスファルト舗装)	m2	2.3	参考重量 W=0.3t
		m3	0.1	
コンクリートブロック撤去		m3	0.2	参考重量 W=0.4t

〈注記〉

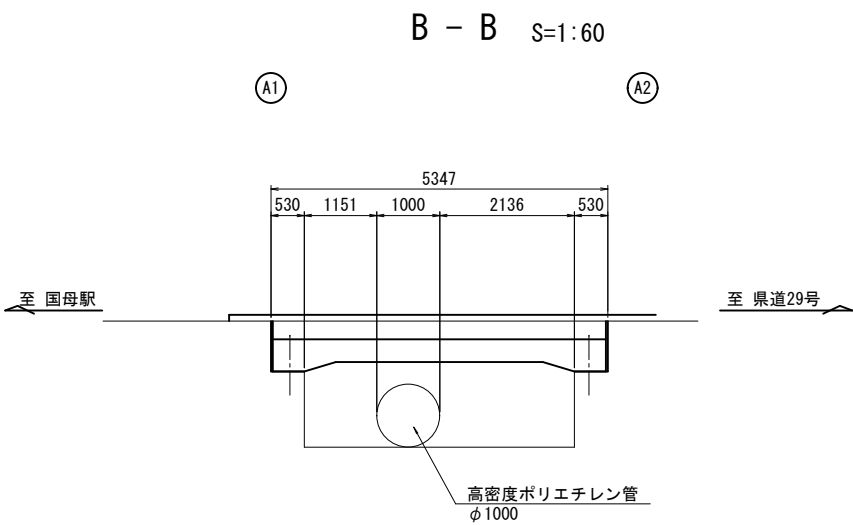
1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
2. すべての寸法値は推定である。

工 事 名	橋梁補修工事 (R7-3)		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 空洞対策工図		
縮 尺	図示	図面番号	11/12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
	甲	府	市

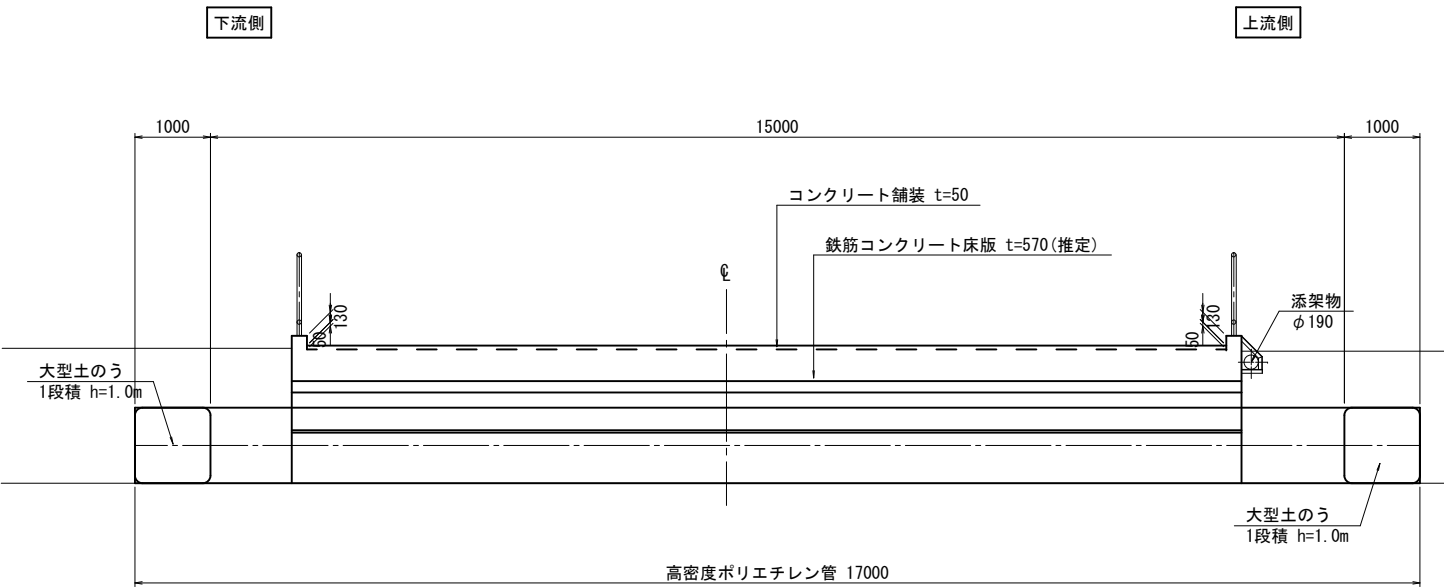
大北橋 仮設計画図(参考図)



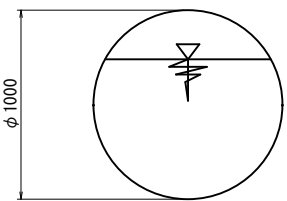
平面図 S=1:60



断面図 S=1:50



高密度ポリエチレン管断面図 S=1:20



〈注記〉
1. 施工に際しては、必要に応じて強度計算を行い、適切な部材配置を行うこと。

工 事 名	橋梁補修工事（R7－3）		
工事場所	甲府市 大里町 地内		
路 線 名	国母工業団地8号線		
図 面 名	大北橋 仮設計画図		
縮 尺	図示	図面番号	12／12
会 社 名	大日コンサルタント株式会社		
甲 府 市			